

平成29年9月22日

NPO法人 野生動物救護の会 理事長 殿

NPO法人野生動物救護の会 動物痕跡調査班

羽根・翼標本展示 報告書

先日行いました羽・翼標本展示について下記のとおりご報告いたします。

記

1. 概要

(1) 件 名：ツバメの仲間と渡りの不思議

(2) 目 的：自然環境保全センターにおいて本会が制作している羽根標本、および翼標本を

展示することにより、ツバメの仲間の特徴、鳥の羽根や翼について紹介する。

(3) 実施日：平成29年9月17日 午前10時～午後3時

(4) 対 象：会員、および非会員

(5) 方 法：1. ツバメの仲間を紹介する（本剥製、羽根標本、翼標本）

2. 鳥の羽根の特徴を解説する（羽根標本）

3. いろいろな翼の形と特徴を解説する（翼標本、骨格標本）

4. 標本制作をおこなう意義、本会による野生動物救護活動を紹介

(6) 場 所：自然環境保全センター本館1Fレクチャールーム

2. 報告事項

(1) 羽根・翼標本展示「ツバメの仲間と渡りの不思議」

本会会員向け、および自然環境保全センターのボランティア向けメールを用いて告知をした結果、台風18号の影響による悪天候にもかかわらず39名（会員10名、非会員29名）の方々が足を運んでくださいました。午前10時の開始から午後3時の終了まで、ほとんど途切れることもなく来場者が来てくださいました。

今回の展示は「ツバメの仲間と渡りの不思議」という（だいぶ強引な）テーマに沿って展示物をまとめてみました（図1左）。「不思議=?」の部分は展示物を見ながらクイズに挑戦できるという企画になってをり、来場されたほとんどの方々に楽しんでいただきました。難易度はちょっと高め（作者評価）だったのですが、展示物の中にヒント（ほぼ答え）をまぎれ込ませておいたので、ほぼ全員が満点でした。

また、アンケートに答えてくださった方には、西岡さんが制作した羽根模様のハガキと本

物の羽根がついたメモカードを進呈しました。好きなものを自由に選べるようにしたところ、真剣に品定めをする人もいて大好評でした。

来場者の方からは、ツバメの仲間に関する事、鳥の羽根や翼に関する事など様々な質問をいただきました。質問には、本会の羽根・翼標本班のメンバーが対応しました(図2左)。何とかお答えできた質問もありましたが、まったくわからない質問もいくつかありました。今後はきちんと対応ができるように勉強しておきたいと思います。

今回の羽根・翼標本展示では、本会が所有していない本剥製や翼標本の一部を自然環境保全センター保護課よりお借りしました。本剥製は、ツバメ、イワツバメ、コシアカツバメ、ヒメアマツバメ、アマツバメ、ハリオアマツバメのものを(9体)お借りしました(図1右)。ツバメの仲間の紹介で使用しましたが、文章や写真では伝わりづらい情報を得るのに大変、役立ったと思います。翼標本は本会が所有していなかったツバメ(所有しているがぼろかった)とコシアカツバメ、トビ、綺麗なドイツ箱に入った多数の翼標本(5箱分)をお借りした(図2右)。今回の展示では、黒田長久が「現代の鳥類学(朝倉書店)」の中で紹介していた10種類に翼を分類しました。お借りした多数の翼標本は、10種類の翼の形を実際に見て、比較してもらうのに役立ったと思います。

(2) アンケートの結果 29名の方がアンケートに答えてくださいました。

1. 本日の羽根・翼標本展示はどこで知りましたか。

メール(NPO:4 センター:3)、知人から(8)、偶然(12)、不明(3)

2. 展示は面白かったですか。

面白かった(24)、まあまあ面白かった(4)、少し物足りなかった(1)

3. 羽根・翼標本に興味をもてましたか

興味をもった(16)、少し興味をもった(12)、あまり興味がわからない(1)

4. 羽根・翼標本制作講習会に参加したいですか。

参加する(10)、参加しない(4)、わからない(15)

5. 「NPO法人 野生動物救護の会」をご存知ですか。

よく知っている(16) 活動内容は知らない(7)、全然知らない(5)、不明(1)

6. ご意見・ご感想

- ・ ツバメの種類がいろいろあることを知りました。近くで見られてよかった。
- ・ すごく勉強になった。すごくわかりやすかった。
- ・ 翼の形の違いがよく分かった。
- ・ 実物を見ると考えていたのとは違った。
- ・ ドイツ箱の標本に関して、もっと説明がほしい。
- ・ 翼の形と飛行能力の関係の説明がよかった。
- ・ ツバメの本剥製を何とかしたほうがよい。ポロポロでかわいそう。
- ・ 漢字にふりがなを付けてください。
- ・ 来場者に積極的に声をかけて解説してほしい。
- ・ 羽根標本の鳥の写真(全体像)があるといい。
- ・ たまには企画展を開催するとよい。
- ・ 鳥の骨格を初めて見ました。違いがよく分かった。生きている鳥も見たいです。
- ・ もっとたくさん羽根標本が見たかった。

- ・ツバメの羽根をじっくり見れる機会がなかったので興味深かった。
- ・大学では鳥類の勉強をする機会があまりないので勉強になりました。
- ・告知をもっとしたらよいと思います。いい展示なのにもったいない！

(3) まとめ

今回、この羽根・翼標本展示を企画した当初は、もっとこじんまりとしたものを想像していました。ところが予約のとれた会場は一番大きい部屋（レクチャールーム）で、本会が所有している標本だけじゃ全然スペースが埋まらない！！困り果てていたところ、西岡さんの機転と保護課の皆さんのご協力で多数の本剥製と翼標本をお借りすることができ、何とか開催することができました。

しかしながら、準備の時間と日ごろの勉強の不足で満足な展示説明ができず、来場者の方もわかりずらかったことと思います。「来場者に声をかけてほしい」という意見は、そんな点を反映しているのでしょう。また、「標本の説明をもっとつけてほしい」という意見もあり、このあたりは準備不足が露呈したものと考えています。

羽根・翼標本に対しての来場者の反応は、アンケートによれば良いのではないかと思います（ほぼ全員が面白かったと解答）。文章や写真だけでは伝わりづらい情報も標本を実際に観察することで得ることができ、しかも本会の展示では博物館よりも間近で見られる点が高評価をもらえた要因の一つだと思います。しかし、標本制作に関しては参加してみたいという方が少なく（10名）、羽根標本制作講習会の開催に関してはマイナス要因となる結果でした。今後、15名もいた「わからない」と解答した人たちをどうすれば「参加したい」に引き込めるか、その方法を見つけることが課題であると思います。

最後になりますが、展示開催の急な申請を快く承認してくださいました渡辺優子 理事長をはじめ理事の方々、スタッフの方々にお礼申し上げます。また、日頃より羽根・翼標本制作事業に関してご助力を頂いております自然環境保全センター保護課の方々に感謝いたします。



レクチャールームで開催した羽根・翼標本展示の様子

本剥製をもちいたツバメの仲間の紹介



来場者に説明をする様子



翼標本の展示の様子

図 2



皆さん、御来場ありがとうございました。

図 3

以上